

富士山の日 記念ウオーク コースの説明

実施日 令和3年(2021年)2月23日(火)

浜松観光ボランティアガイドの会

1	 <p>うしやまこうえん 牛山公園</p>	<p>棒屋(中村家)の祖先は農家で永禄12年(1569年)家康が浜松に城をかまえると共に商売を開始。天秤棒や背負籠などを販売。明治年間に小間物商、事業家で報徳の教えを守り、巨万の財を築いた中村藤吉の顕彰碑や天神様の使いとして、セメントの牛や牛山天神の鳥居など棒屋関係の石造文化財を作った。</p>	7	 <p>すみよしみなみこふん 住吉南古墳</p>	<p>住吉南古墳 直径28m、高さ4.4m、5~6世紀の円墳。幅4mの溝に囲まれている。葺石、埴輪は見つかっていない。以前は前方後円墳と考えられていたが発掘の結果、市内7番目の規模の円墳とわかった。</p>
2	 <p>さいがけしんかわ 犀ヶ崖・新川 ごうりゆうちてん 合流地点</p>	<p>犀ヶ崖・新川合流地点 犀ヶ崖の谷間にも小川があり、それらの河川が集まって新川の源流の一つとなっている。</p>	8	 <p>トーチカ</p>	<p>(旧日本軍防御陣地) 円形や方形などの外形で全長が数メートルから十数メートル程度。銃眼となる開口部を除いて壁で保護された防御施設。現在 ほぼ埋もれていてわずかにコンクリートが見える。</p>
3	 <p>いけがわてい いけ 池川邸(池)</p>	<p>築約130年、樹齢数百年の樹木、約3000坪と広大な敷地内の池は新川の源流の一つとなっている。現在は空家のため立ち入り禁止。町の氏神となっている池川神社の石碑によれば、文化4年(1807年)、小倉氏がこの地・上池川村に移り、開墾に従事、業績を上げたため、時の浜松城主から、村の名前を氏とすることを許された。</p>	9	 <p>はくさんじんじや 白山神社</p>	<p>(高林、住吉の氏神) 創建は不詳。慶長12年(1607年)再建。祭神は いざなぎ尊 いざなみの尊 すさのおの尊 (御神木) 樹齢200年 スダジイ (子持ち桜) 山桜の空洞の中から竹が突き出ている。</p>
4	 <p>しんかわすいげん ち 新川水源の地</p>	<p>池川谷の水を集め、犀ヶ崖の水流と合流して浜松城の外堀となっていた。</p>	10	 <p>ひやくだんざか 百段坂</p>	<p>少林寺と白山神社を結ぶ階段。明治42年(1909年)に石段に作りかえた。元は108段であったが現在は115段(?) 天気が良ければ富士山が見える。</p>
5	 <p>せいれいはままつびょういん 聖隷浜松病院 ドクターヘリ</p>	<p>平成11年(1999年)4月に浜松救急医学会の研究事業として日本で初めて民間救急ヘリの運用が開始された。平成13年(2001年)10月から正式なドクターヘリ導入促進事業として運用を開始。</p>	11	 <p>かほくさん しょうりんじ 華木山 少林寺</p>	<p>臨済宗 奥山方広寺派、開基天正7年(1579年)、本尊 薬師如来。平成2年(1990年) 鈴木家(スズキ)が檀家となり、鈴木修氏夫婦よりフェニックスの名木が寄進植樹される。</p>
6	 <p>すみよしぼえんへいわきねんひろば 住吉墓苑平和記念広場</p>	<p>(旧浜松陸軍墓地) 昭和18年(1943年)に竣工した忠霊殿があったが、老朽化が進み平成17年(2005年)に解体された現在は、英霊顕彰之碑、平和祈念の碑がある。</p>	12	 <p>えんしゅう しぎさん 遠州 信貴山</p>	<p>昭和58年(1983年) 開創、奈良県信貴山から毘沙門天を勧請。弘法大師を祀る 大師堂に四国88カ所巡りが出来るお砂踏みがある。</p>